

氏名 郡山 健治

学位の種類 医学博士

学位授与番号 乙第884号

学位授与の日付 昭和52年9月30日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者  
(学位規則第5条第2項該当)学位論文題目 ヒト組織内リンパ球 subpopulation の分布に関する研究  
第1編 組織内リンパ球 subpopulation の分布同定法の基礎的検討および各リンパ組織におけるその分布  
第2編 臓器内浸潤リンパ球 subpopulation の分布—自己免疫性疾患を中心として

論文審査委員 教授 大藤 真 教授 妹尾左知丸 教授 小川勝士

## 学位論文内容の要旨

組織内リンパ球 subpopulation の分布同定法を確立し、リンパ系組織でその分布を検索するとともに、各種自己免疫性疾患の臓器内浸潤リンパ球の subpopulation の分布を明らかにした。方法論としては、T細胞の同定にはヒツジ赤血球（E）ロゼット反応を、B細胞の同定には補体結合感作ヒツジ赤血球（EAC）ロゼット形成反応および膜免疫蛍光法を用いた。胸腺の皮質および髄質のリンパ球のE付着能には差がない。リンパ節では、リンパ渦胞がB細胞で、傍皮質領域はT細胞で構成されている。扁桃は主としてB細胞で形成されており、リンパ小節にB細胞が集簇している。T細胞はリンパ小節間に散在する。Sjögren症候群の唾液腺では浸潤リンパ球は殆んどB細胞であり、T細胞は導管上皮細胞の周辺に存在する。橋本氏病甲状腺でも、リンパ濾胞を初め大部分の浸潤リンパ球はB細胞であり、T細胞は甲状腺渦胞上皮細胞近傍に存在する。再生不良性貧血の脾臓では、白脾臓はB細胞集簇部である。T細胞は同定されない。胸腺腫合併の重症筋無力症の非腫瘍性胸腺内のリンパ濾胞はB細胞で構成されている。

## 論文審査の結果の要旨

本研究はヒト組織内リンパ球 subpopulation の分布に関して実験的に研究したものであるが、これまでほとんど確立されていなかった組織内T細胞の分布について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。